



▲全国から50名が参加して開催された造園シンポジウム

基調講演・鈴木誠氏▶



▲基調講演・高崎康隆氏

特別講演・北山安夫氏▶



▶香蘭女学校庭園



◀本光寺庭園



▶とうふ屋うかい庭園

日本造園アカデミー会議（野澤清議長）の主催する造園シンポジウムが、8月25日～26日、中野サンプラザ（東京都中野区）で開催された。「造園の理解者を増やすために次代を担う若者にむけて」をテーマに講演や意見交換を行ったほか、都内の庭園視察を行った。

このシンポジウムは、造園技能者・技術者、教育関係者、設計コンサルタントなどが集まって、情報交流、意見交換などを行う恒例行事。今回は初日は西田副議長が進行となり、野澤議長の開会挨拶、高取理事長挨拶、参加者紹介の後、ま

全国から50名が参加して開催された。初日は西田副議長が進行となり、野澤議長の開会挨拶、高取理事長挨拶、参加者紹介の後、ま

ず鈴木誠氏（東京農業大学教授）より基調講演が行われた。テーマは「若い造園家たちの躍動～1920年～30年代に学ぶこれから」。小川治兵（7代目植治）、飯田

十基、重森三玲、上原敬二などが新しい時代にむけてどのような取り組みを行ったか、当時の時代状況の説明、考え方や活動紹介などを行った。

続いて、高崎康隆氏（高崎設計室）より、「かつての日本庭園」を

3年間のサラリーマン生活になじめず、自らの道に入った。現在では個人庭園から、企業の緑化、官庁工事まで幅広い事業を展開。

藤倉栄之氏（富山県）は、組合員250社を数える大所帯の富山県支部長として、事業所の規模に関係なく組合員の日本庭園を手がけた北山安夫氏（京都、北山造園）より、「愛知万博日本庭園工事から」をテーマに基調講演があつた。現代の日本に合う、かつての日本庭園とは何か。

橋二三男氏（都立農芸高校教諭）、内田均氏（東京農業大学助教授）より、富沢貴氏（本光寺庭園）、木村脩氏（設計施工・野村脩氏）、野澤清氏（施工・市川秀夫氏）を見学し、シンポジウムを終了した。

造園シンポジウムを開催

「造園の理解者を増やすために次代を担う若者にむけて」

旬刊

造園連新聞

発行所
社団法人 日本造園組合連合会
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-3-2マツシタビル7階
TEL 03(3293)7577㈹
FAX 03(3293)7579
URL http://www.jflc.or.jp
E-mail jflc@sepia.ocn.ne.jp
定価1ヶ月250円

4・28
庭の日

高橋善和氏
(大阪府)

義兄が経営している
造園会社に誘われこの
切さを力説する。

大阪花博の誘致が決
定した際に、イタリア
のゼノバの花博で、25
日間にわたって現地で
自炊し作庭した貴重な
経験が業界人としての
造園土木。

趣味はゴルフ。この
放感」「調和」「個性的」
感」「シャープ」「緊張感と開
放感」などの言葉をキーワードに、これからの中庭
づくりの提案がなされた。
夕食をはさんで18時～20時までは、班別に分かれ
て意見交換会が行われた。

2日目は、愛・地球博の日本庭園を手がけた北
山安夫氏（京都、北山造園）より、「愛知万博日本
庭園工事から」をテーマに基調講演があつた。現
在では個人庭園から、企業の緑化、官庁工事まで幅
広い事業を展開。

高橋善和氏は、組合員250社を数える大所帯の富
山県支部長として、事業所の規模に関係なく組合員
の日本庭園を手がけた北山安夫氏（京都、北山造
園）より、「愛知万博日本庭園工事から」をテーマに基
調講演があつた。現代の日本に合う、かつての日本
庭園とは何か。

高橋善和氏は、組合員250社を数える大所帯の富
山県支部長として、事業所の規模に関係なく組合員

▶庭の詩情



毎年好評を頂いている
「造園連カレンダー」。2
006年版の申込締切は
9月末日までです。単価
種類・単価など次の通り。
300円台の種類も新登
場。ぜひご活用下さい。

①庭の詩情

表紙+12枚

サイズ60×55cm

単価50~90部

100部以上 610円

100部以上 505円

表紙+12枚

サイズ60×42cm

単価50~90部

100部以上 610円

表紙+12枚

サイズ60×42cm

単価50~90部

日比谷公園ガーデニングショー

10月14～22日開催

日比谷公園ガーデニング
グショーアリーフが、10月14日(金)から22日(土)まで日比谷公園(東京都千代田区)で開催される。

「実りの秋のものがたり収穫の喜びに湧く9日間」をテーマに、イベントや庭園展示などが行われる。

期間中は日比谷公園第一花壇の大芝生広場が開放されるほか、広場・園路沿いに多様なテーマの庭園や花壇作品などが展示される。

同時に行われるガーデンコンテストは、ガーデンコンテストは、ガーデン、コンテナガーデン、

庭園部門では、ハンギングバスケットの三部門に分かれ、デザインや技を競う。特にガーデン(庭園)部門では、ハンギングバスケットの三部門に分かれ、デザインや技を競う。特にガーデン(庭園)部門では、

さらに2つのカテゴリーが設定されており、①ガーデン(縦3m×横4mの庭)、②ベランダ(縦1.5m×横4m)、に分かれて多数の作品が展示される。入場無料。

ガヤの発生 よい除草方法は?

香川県の組合員から、コウライシバ1万m²の芝生広場を管理しているが、コウライの中にチガヤが入ってしまった。人力除草する予算もなく、困っている。何かよい方法はないか。

山梨県の組合員からは、高麗芝の芝生の中に、バーミューダグラスが入ってしまった。人力除草しか方法はないだろうか。

いずれも同じイネ科の創刊号では、作家・村上龍氏によるエッセイ「追憶のあじさい」が綴られているほか、樹液を吹くと、まるごくぐらむ不思議な植物「シャボン玉の木」の紹介や、楽しいガーデングッズ紹介、また、味わう・癒す・旅話題提供、特集「自然が

北海道札幌市にあるモエレ沼公園が、7月に全面完成した。内陸部分約100ha、周りを取り囲むモエレ沼の水面を合わせて189haの広さ。世界的な彫刻家イサム・ノグチの最後にして最大の作品であり、「全体をひとつの彫刻」とみなした公園づくりを行なつている。

公園の全面完成を記念して、札幌芸術の森美術館で7月2日～8月28日までイサム・ノグチ展が開催される。会場は

東京都現代美術館(江東区・木場公園内)、9月16日から11月27日まで開催される。観覧料130円。

雑草。除草剤使用も無理で、何かよい知恵があるたら教えてください。

イサム・ノグチ展 東京都現代美術館で

手軽な手入れと可愛らしい姿で、動物のペットのように芸をする

植物のことを言う。最近女性の人気を集めて

いる。

銀座の博品館で販売しているのは「この木なんの木」と名付けられた熱帯原産マメ科のモンキー

ポッドの種と培養土のセット。ひと月で5cm程度に育ち、20枚位の葉をつけ、夜は葉を閉じ、朝開く。東急ハンズでは人

形の頭に芝の種が植え付けられた「ヘアーラボ」が人気。緑の髪の毛が伸びた

が受けている。

ペットの

植物

「うさぎじけ」と呼ばれる食虫植物の一種は見た目と虫を捕食する

植物

グロテスクさのギャップ

が受けている。

ペ

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト